

活動中のプロジェクト

各プロジェクトチーム
随時メンバー募集中！興味を持った方、
気になった方は気軽に
お問い合わせください

サイクルシェアリング ポロクル

自転車利用のマナーやルールの向上につ
いての情報発信、自転車とエコ、地域経済
振興などを考え、社会に提案していくた
めのチームです。

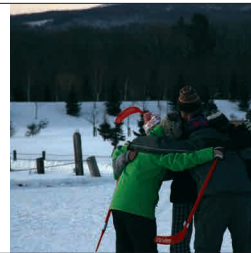
釜石支援

現地で活動中の、岩手県釜石市出身の仲
間を応援しているチームです。長期・短期
ボランティアのコーディネートなどを
行っています。

オーガニックファーム

石狩市にある、「はるきちオーガニック
ファーム」と連携し、畑をフィールドとし
た活動を通して、人と人、人と自然の循環
やつなかりを伝える活動を行っている
チームです。

Radio

環境情報や活動情報などを発信していく
ためにコミュニティFMやインターネット
放送を行っているチームです。
現在、FMアップル(76.5MHz)で毎週火
曜日19:30~20:00放送中。ふくしまキッズ(北海道)
ボランティア長期休みに福島県の子どもを北海道で
受入れる「ふくしまキッズ(北海道)」の
ボランティアチームです。

Information

募集 ポロクル クルー募集！

札幌のサイクルシェアリング、ポロクルの運営アル
バイト(クルー)を募集しています。
運営への意見などももらいながら、サイクルシェア
リングを通して、シェアリングの仕組みやまちづく
りに関わるお仕事です。自転車が好き、まちづく
りに興味がある、体を動かす仕事がしたい人は是非！

作業内容 主に自転車のメンテナンスや自転車の運搬
時 給 710円～
勤務時間 勤務時間、日数は要相談
申込方法 関心のある方はinfo@ezorock.orgまで、
件名に「ポロクル」、本文に「氏名・連絡先・年齢」をご記入の
上、ご連絡ください。

募集 RSR12環境対策ボランティアコーディネーター

RISING SUN ROCK FESTIVAL in EZO 2012環境対策活動の
ボランティアコーディネーター(通称VC)を募集します。
興味のある方は事務局までお問い合わせください。件名に「RSR12 VC」、本文に「名前、連絡先、所属(学校名など)」
を記入の上、info@ezorock.orgまでご連絡ください。

Let's クリック Facebook、Twitter やってます

f 250「いいね」突破しました！
http://www.facebook.com/ezorock/
t 1,820フォロワーいます。
http://twitter.com/ezorock/

代表の小言

「逃げる」という
作戦も忘れずに。私は、比較的人生を逃げな
がら生きてきました。
もう10年も前の話になりま
すが、大学卒業間近でも、就
職活動もほとんど行わず、受
けたのは一社のみ。運良く最
終面接まで残ったが、それま
で自分が大切にしていた「価
値観」を捨てなければならな
いような恐怖感があり、結果
がくる前に自ら辞退しまし
た。結局、逃げてしまったん
ですね。私は、特に強みがなかった
ので、ものすごく「対立」をさ
ける傾向にありました。やつ
ても、勝てないのて戦わない。
そうすると、常にライバルが
少ない分野にアプローチす
ることになります。
気がついたときには「よくそ
んな誰もやっていないこと
やれるな」と..
ただ、あるときハッと気がつ
くわけです。「逃げるのも一
つのテクニックかしら」。
そう、いろいろなことが不確
かなこれからの時代は「逃げ
る力」言い換えると「別の道
を探す力」も非常に重要なス
キルでしょう。
4月を迎え、新たなステージ
で勝負する人も多くいると
思いますが、「逃げる」とい
う作戦の中にも活路があ
ることを忘れずに。
(草野竹史)

特集 ezorockers secial

次のステージに向かう
エゾロッカーズ

今月の写真

2011年12月に実施された、ふくしまキッズ(北海道)冬のプログラムの時の一枚。
冬の七飯町大沼で雪道をゆくボランティアスタッフの後ろ姿はどこか頼もしく見えます。このニュースレターは
ボランティアスタッフが
1枚1枚折っています。

このニュースレターは古紙100%の再生紙を使用しています

環境NGO ezorock 会員向け情報誌 vol.13 2012.3

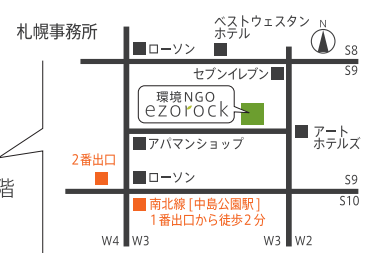
Rock The Life! ezorock

札幌 〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

函館 〒040-0053 函館市末広町4番19号函館市地域交流まちづくりセンター 3階

TEL/FAX(札幌事務所) 011-562-0081 E-mail info@ezorock.org

WEB http://www.ezorock.org/

環境NGO
ezorock
www.ezorock.org

次のステージに 向かう エゾロッカーズ

今年度最後の特集は「ezorockers」スペシャル。
「学校を卒業する」という、わかりやすいライフ
ステージの節目となるこの時期。
ezorockで活動したことで、彼ら、彼女らにどの
ような変化があったのだろうか。
どのような道を進むのだろうか。
今後も新たなステージに進む彼らと共にどんな
ワクワクを作っていけるか、楽しみでならない。
勿論、彼らの活躍も。

「なにかしたい」という
思いにつられて

中山結佳さん (24歳)

鳥取県八頭郡出身／就職先:宮本さんの弟子／将来の夢:鳥取で村の幅広い世代が気軽に立ち寄れる場所を作り、鳥取の人口をキープさせること／活動履歴:vision2050、RSR09、釜石支援



Mabho

鳥取や北海道のように、人口の少ない場所、雇用の少ない場所でどうやって自分のような若い人が「この地域で暮らしたい、暮らせる」と思えるのか。高校を卒業してから、形がかわってもずっと同じテーマが自分の軸として存在していました。大学2年のとき、大学で学ぶことよりももっと実用的なことを学びたいと思いezorockに入りました。ezorockにいる人たちの「なにかしたい」という思いにつられてRSRやvision2050での活動をするうちに、自分に足りないもの(計画的に物事を進めること、チームを大事にすること)が分かりました。4月からは、NPO法人ねおすの理事をされている宮本英樹さんの弟子として自分の夢をかなえるために何が必要なのか、研修をしていきたいと思っています。今後自分の夢をかなえていくなかで、ezorockで培った人間関係やこんなときどんな風に行動すべきかといった経験は、自分の中で確実に基礎部分となってわたしを支えてくれると思っています。



どや顔で自慢できる日を
目指して頑張りたいです

宮本雅之さん (22歳)

札幌市出身／就職先:(株)クラウンパッケージ／将来の夢:日本中に自分が考えた商品が並ぶこと／活動履歴:RSR09、釜石支援、ポロクル



Musashi

大学での4年間は今思い出しても、そのどれもが有意義な時間だったと感じています。様々な友人が出来たことや空手で全国大会に出場できたこと、そしてezorockに出逢えたこと。ezorockでは被災地支援で実際に被災地の状況を目の当たりにしたり、ポロクルのクルーとして活動をしました。これらの活動の中で環境や様々な問題ついて仲間と話し合った時間は、大学やバイトでは決して経験できない非常に貴重なものになりました。私がこれから勤める会社は、特別な技術で製造した段ボールを使い、私たちの身の回りにある様々なパッケージや箱を作る会社です(例えばビックマックの箱や、カップヌードルご飯のパッケージなど)。まだ配属は決まっていないのですが営業になれば自分で作りたいものを企画し、上手くいけば自分で考えた商品がスーパーやコンビニに並ぶことになります。なので、いつか友人などに「これ、俺が考えた商品なんだよね」と、どや顔で自慢できる日を目指して頑張りたいです。



一人前の社会人になって
またこの地域に帰りたい

井下友梨花さん (23歳)

大分県佐伯市出身／就職先:(株)リクルート／将来の夢:3児の母／活動履歴:Vision2050、オーガニックファーム、RSR07～09、アースデイ08～09、地域のお祭り環境対策



Midori

ezorockでは、RSRでの環境対策やVision2050プロジェクトでのフォーラムやセミナー開催などに取り組み、チャレンジ→振り返り→再チャレンジのサイクルを多くさせてもらいました。活動を始めた頃の私の軸は「メッセンジャーになる」こと。高校生の時、父の病気をきっかけに「食」に興味を持って色々調べていたら、世界には飢餓と飽食が同時に存在するなど「社会は意外と完璧じゃない」と思うようになりました。そんな社会に対して何かアクションを起こしたくて大学1年の頃からezorockで活動をしています。3年目になって、もっと世の中を知りたいと思うようになり、大学3年後期から休学して鹿児島島の農村で半年間働きしました。廃校になった中学校での事業立ち上げプロジェクトの事務局として働きましたが、簡単に言うと、そこで私はほとんど使いものにならず、お世話になった人に何も返せずに半年が終わってしまいました。私はこれから就職して事業会社に勤めますが、使いものになる一人前の社会人になってまたこの地域に帰りたいと思っています。



ezorockers Special

※RSR…RISING SUN ROCK FESTIVALの略称

自分のやりたい事だから
こそやり続けていきたい

荒谷朋美さん (18歳)

札幌市出身／将来の夢:バンドマン／活動履歴:ポロクル、RSR11



Arayan

私は高校に入学した頃は、とりあえず大学に進学することが当たり前だと思っていました。でも、高校からバンドを始めてたくさんの人に出会って、高校生ではできないようなことをたくさん経験させてもらいました。そんな中で自分はこれをずっとやっていきたいと改めて思い、今の自分にやれるだけのことをやってみようと、バンド一本の道に決めました。そう決めてから、ezorockの活動にも参加するようになりました。去年はポロクルを軸にRSRのボランティアにも参加させてもらいました。ボランティア自体は結構辛かったですが(笑)、すごく良い勉強になったし楽しかったです！これから音楽に限らずどんなことも大変だろうけど、自分のやりたい事だからこそやり続けていきたいと思っています。そしてもっともっと練習して、バンドとして大きくなってフェスに出たいです！RSRにすごく刺激されました！最後にこれからどこかで関わることがあるかもしれませんので、その時はみなさんよろしく願います！



北海道に住む人々が、
幸せでいられるような
環境を作りたい

池田貴裕さん (25歳)

小樽市出身／就職先:(株)JTB北海道／将来の夢:奥さんとCafé兼 ホステルを経営する／活動履歴:ラジオ、ROCK THE FARM、ポロクル、RSR10～11、アースデイ11、地域のお祭り環境対策



Ikechan

僕はezorockに入り、約2年になります。普段はラジオ、RTFの2つのチームで活動し、その他にも、RSRや、さまざまな地域イベントで環境対策活動を行ってきました。さまざまな思い出がありますが、特に昨年のRSRで、活動全体を見渡す運営の役割を担った経験は、僕にとって印象的です。ezorockで過ごした時間は、僕のマインドを育みました。その要因は、ezorockの皆や、ezorockを介してお会いした方々との出逢いです。真剣に社会を変えようとしている方々にお会いし、お話ができたことは、非常に刺激になり、自分の将来を考える良い機会になりました。僕は4月から旅行業に就きます。旅行を通じて、地域を活性化させ、地域間の繋がりを生みだし、将来、北海道に住む人々が、幸せでいられるような環境を作りたいと考えています。何年後になるかわかりませんが、僕を育てくれたezorockに事業を引っ張り、一緒に仕事がしたいと考えています。そして、いつまでもezorockの一員です。



人の笑顔のそばに
幸せを感じながら
過ごしていきたい

山崎さおりさん (27歳)

留萌市出身／就職先:NPO／将来の夢:カフェ・パルを開くこと／活動履歴:RSR04～11、アースデイ10～11、地域のお祭り環境対策など



Saori

2011年、4年働いた職場を退職し、専門学校に入りました。大学の頃から興味があった珈琲についての知識や技術をつけたいと思っていたからです。ただの嗜好品ではなく、本当に人生を豊かにしてくれることを学びました。そして、学生に戻ったらもう一度しっかりezorockでの活動をしたいという思いもあったので、RSRでの活動に参加しました。環境だけではなく、組織で動くとはどういうことか、について再度考えるきっかけになりました。また、この場でかけがえのない仲間と出会えたのは私の一生の財産だなと感じています。今後、石狩にあるNPOでお世話になります。ezorockで経験した、組織でひとつのミッションに向かって進むことや、人としてしっかり向き合う大切さは、これからの職業にいかせるものだと感じています。活動を通して学んだ事を大切に、地域に貢献できる力をさらに身につけていきたいです。



自分がおもしろいと思う
道を歩いていけたら

西岡潤二さん (26歳)

余市町出身／将来の夢:地域振興に関わる仕事／活動履歴:RSR07～08、ふくしまキッズ



Junjun

RSR07の環境対策活動でezorockの存在を知りました。音楽を楽しむために参加したつもりがボランティアという活動の持つ魅力にやられてしまい、以来RSR08を含め色々な活動に参加しました。その後卒業と同時に青年海外協力隊に参加、マダガスカル共和国にて青少年活動という職種で2年間活動してきました。RSR07の感動がなければ青年海外協力隊に参加することはなかったと思います。帰国後はマダガスカル音楽に関する映画の制作に携わりつつ、ふくしまキッズなどezorockの活動に参加しています。日本から遠く離れた土地で2年間生活してみて、いかに自分が北海道のことを好きなのかということに気付くことができました。また北海道という土地の素晴らしさをこれまで以上に強く感じ、より多くの人とこの感覚を共有できたらと考えるようになりました。その大きな漠然とした目標のため「北海道」「地域」「若者」をキーワードに自分がおもしろいと思う道を歩いていけたらと今は考えています。

